

平成24年度 事業報告および活動・経過報告

- ★4月17日 グラクソ・スミスクライン㈱の社員向けの講演会でアトピー性皮膚炎患者の悩みや製薬会社へ期待することを講演した。
- ★4月10日 ヘルシーソサエティ賞に出席した。
- ★4月15日 患者の声を医療政策に反映させる協議会勉強会「医療基本法の制定に向けて今こそ！」参画。
- ★4月27日 2011年下期イエローシートキャンペーンの贈呈式に出席した。
- ★5月23日 国税庁より、認定NPO法人に平成24年6月1日から5年間、認定された。
- ★5月27日 平成24年度春季講演会アトピー性皮膚炎・ぜんそく「もっとよくなるための治療最前線」を、東医健保会館にて、総会も併設して開催した。[後援(財)日本アレルギー協会]
・総会 平成23年度の活動実績・決算報告、24年度活動計画が承認された。
第一部講演1「アトピー性皮膚炎の治療」一皮膚と心を考える
東京女子医科大学附属女性生涯健康センター副所長・教授(皮膚科兼務) 檜垣祐子先生
2「気管支喘息治療の最前線」一吸入ステロイド・長期間作用性気管支拡張剤配合剤や抗IgE抗体療法を中心に」 帝京大学医学部呼吸器科・アレルギー内科教授 山口正雄先生
3「ベテラン患者からのアドバイスー忘れがちな日々のケアの大切さー」 当会スタッフ
第二部「講師を囲んでのQ&A」各参加者の個別の質問に講師が回答して行われた。
- ★6月9日 日本喘息 COPD フォーラム (JASCOM) 編集委員会へ出席。
- ★6月18日 19日 NHK「きょうの健康」に、当会ボランティアスタッフ2名が取材され放映された。
- ★7月1日 アトピー性皮膚炎ドットコム「ドクター対談コーナー」(ノバルティスファーマ㈱制作) 江藤隆史先生とアトピー性皮膚炎患者代表として対談。
- ★7月5日 アボットジャパンより喘息患者の現状についてインタビューを受けた。
- ★7月7日 「第19回皮膚科EBMフォーラム」(札幌にて)で、患者の声を提言した。
- ★7月25日 8月13日 受療者医療保険学術連合会の樹立準備委員会に参加した。
- ★8月3日 日経ヘルス8月号に当会の患者体験とかゆみ日誌が掲載された。
- ★8月3日 当会のFace bookを開設し、SNSを使用しての活動状況報告や情報提供を開始した。
- ★8月21日 患者の声協議会世話人会に出席した。
- ★9月1日 受療者医療保険学術連合会の設立総会および記念シンポジウムに出席した。
- ★9月2日 朝日新聞主催の市民公開講座「ぜんそく治療の達成へ向けて」一難治性喘息患者さんの救済のために今なすべきことーへ患者代表のパネリストとして参加した。
- ★9月22日 米国製薬工業協会PhRMAインフォメーション・セッション「英国の医療について」に参加した。
- ★10月23日 サンデー毎日11/4号「秋からの発症に注意!大人のぜんそく」に患者会の意見を取材され掲載された。
- ★10月26日 朝日新聞朝刊全国版に、当会からパネリストで参加した9月2日開催の市民公開講座「喘息治療達成へ向けて」一難治性喘息患者さんの救済のために今なすべきことーの記事が、掲載された。
- ★10月30日 パレスホテルでの第一回 明日の象徴の授賞式へ出席した。
- ★11月17日 患者の声協議会第20回勉強会「医療政策に患者・市民はどう関わるかー審議会の現状と展望」及び世話人会に出席した。
- ★11月18日 秋季講演会『身につけよう最新治療とその実践』を、フォーラムミカサ エコにて開催した。[後援 公益財団法人日本アレルギー協会]
第一部
講演1「アトピー性皮膚炎のかゆみをやっつけよう」順天堂医学部名誉教授・付属浦安病院皮膚科特任教授 高森建二先生
講演2「吸入ステロイド薬の吸入指導」 おおとし内科クリニック 院長 大利隆行先生
講演3「実践吸入・スキンケアのコツ」 常任顧問と当会スタッフが実演
第二部 「講師を囲んでQ&A」は参加者の個別の質問に講師が回答して行われた。
- ★11月27日 経団連 第13回 製薬協フォーラム「グローバル化する保健医療」へ出席した。

- ★11月30日 日本アレルギー学会秋季学術大会に参加した。
- ★12月1日 日本アレルギー学会秋季学術大会「アレルギー専門医制度討論会ー真に望ましい専門医を目指して」において、患者の立場から提言した。
- ★12月3日 米国製薬工業協会 2013年第3回インフォメーションセッション「英国医療における患者一般参画の実際」に出席した。
- ★12月12日 環境再生保全機構 喘息患者会等の集まりⅡに出席した。
- ★12月18日 東京都福祉局の方と、当会事務所にて、アレルギー疾患への啓蒙・啓発活動について意見交換を行った。
- ★12月22日 日本医師会館にて医療基本法制定（仮称）に関するシンポジウム」に出席した。
- ★2月3日 医療基本法の弁護士グループ勉強会に出席し、「医療保険者の機能・役割」について討論した。
- ★2月25日 26日 ぜんそく・アトピー性皮膚炎実践講座と患者交流会を、「正しい吸い方・塗り方を知ろう」というテーマで、当会事務所にて開催した。
実践ぜんそく講座 「各種吸入ステロイド吸入薬と正しい吸入法」
講師 蔵王薬局横網1丁目店薬剤師 佐藤幹先生
実践アトピー講座 「スキンケアの実際」講師 花王㈱ 吉田智保様

<その他>

- ★ 月刊誌「あおぞら」を毎月発行し、会員等への最新治療情報提供を行った。
- ★ 電話・FAX・来所等による療養相談が年間 251 件あり、症状が良くならない、病気を持つことの不安などの相談に対し、ピアカウンセリング、患者の立場からの助言、専門医の紹介などの対応を行った。
- ★ ホームページの更新を随時行い、喘息やアトピー性皮膚炎に悩む多くの方に情報発信を行った。
- ★ メールマガジンを毎月発行し、会員外の患者にも情報提供を行った。
- ★ 「イオン主催の「黄色いレシートキャンペーン」の参加を継続した。

25年度活動計画

1. 患者による療養相談

毎週火曜・土曜日に電話等による療養相談に対し、ピアカウンセリングや患者の立場からの助言、専門医の紹介等を行うことによりアレルギー疾患患者やその家族のサポートを行う。

2. 月刊紙「あおぞら」の発行

気管支喘息やアトピー性皮膚炎等についての正しい知識を広め、患者の方々のQOL向上に寄与することを目的として広報紙を発行する。

3. 専門医による講演会の開催

疾病についての正しい知識の普及と最新治療法の情報を提供するため、著名な専門家を講師に迎え、講師に直接質問もできるQ&Aやパネルディスカッションも併設して年2回開催する。

4. 患者交流会の開催

当会の事務所において、患者同士の情報交換や悩みを話し合う場として毎月第三土曜日に開催する。

5. アレルギー週間協賛行事の開催

アレルギー週間において、実践講座等の勉強会を開催する。

6. ホームページの運営

ホームページを運営し、インターネットを通じて患者に必要な正しい情報を提供する。

7. メールマガジンの発行

メールマガジンを発行し、会員外にも広く正しい情報の提供を行う。

8. 患者会として社会への情報発信

患者の立場からの意見を患者代表として学会やマスコミ等に提言を行う。

9. 他の団体との交流

他の患者会や団体および企業との交流を深め、アレルギー性疾患に関する啓蒙活動等を行う。

10. 「あおぞら」500号記念誌発行

「あおぞら」500号発行を記念し、記念誌を発行する。

11. 厚生労働省難治性疾患等克服研究事業研究協力

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業、アトピー性皮膚炎の発症・症状の制御および治療法の確立普及に関する研究協力を行う。